

## 第7回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和3年7月19日（月）  
開会14時30分 閉会15時23分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者
- |              |            |
|--------------|------------|
| 教育長          | 鍵本 芳明      |
| 委員（教育長職務代理者） | 上地 玲子      |
| 委員（教育長職務代理者） | 服部 俊也      |
| 委員           | 松田 欣也      |
| 委員           | 梶谷 俊介      |
| 委員           | 田野 美佐      |
| 教育次長         | 池永 亘       |
| 教育次長         | 梅崎 聖       |
| 学校教育推進監      | 平田 善久      |
| 教育政策課        | 課長 大西 治郎   |
|              | 副課長 江草 大作  |
|              | 総括主幹 土井 隆史 |
| 教職員課         | 課長 大重 義法   |
| 高校教育課        | 課長 中村 正芳   |
| 義務教育課        | 課長 川上 慎治   |
| 特別支援教育課      | 課長 中村 誉    |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 協議事項  
(1) 令和4年度使用教科用図書の採択について
- 6 報告事項  
(1) 令和4年度岡山県公立学校長（任期付職員）選考試験の実施について

## 7 議事の概要

### 開会

#### 非公開案件の採決

##### (教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、協議事項（１）は、教育行政の公正を確保することから、教育委員会会議規則第１２条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

##### (委員全員)

（特になし）

##### (教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。

協議事項（１）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

##### (委員全員)

挙 手

##### (教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

#### 報告事項（１）令和４年度岡山県公立学校長（任期付職員）選考試験の実施について

##### ・教職員課長から資料により一括説明

##### (委員)

この制度について広く知ってもらうため、ホームページ以外に就職や転職向けの求人サイトに掲載することはできないのか。

##### (教職員課長)

任期付校長の選考については民間で培った経験に加えて教育に対する知見も必要であると考えている。通常の一般教員については求人サイトにも広く掲載を行っているが、一般教員を募集する場合とでは趣旨が異なると考えている。

##### (委員)

下限を３５歳に設定した理由は何か。

##### (教職員課長)

低い年齢になると、社会人になって早々に管理職となることになるが、その場合応募者が校長の職務を想像することが難しいと判断したためである。学校現場で教員が学年主任や生徒指導主任等の学校全体を見渡す役職になる年齢は、概ね３０代中頃から４０歳頃までであるため、一般企業でも同様の経験を積んでから応募してもらうことを考えると３５歳が望ましいと判断した。

##### (委員)

３５歳で応募される方はなかなかいない印象を持つ。校長の経験を次のキャリアでのステップアップとして応募されるイメージがあるが全国的にはどのような状況なのか。

**(教職員課長)**

全国の実績の資料は手元には持ち合わせていない。本県の実績では、平成28年度に30代で応募された方がいる。昨年度では40歳から44歳までの間の年齢の方で1名の応募があった。本制度の任期は延長すれば5年であるが、基本的には3年であるため、自身の今の職務等を辞職してまで応募をすることに対して若い年齢の方になるほど慎重になる方が多いと思われる。

**(教育長)**

大阪府では、民間経験者の校長採用に積極的であり、多くの方を採用している。30代はかなり少ないと思うが、40代の方は多い。

**(教職員課長)**

これまでの実績を総括すると、任期付校長で採用された方の多くが、学校経営をコストパフォーマンスの面で着眼したり、自身の幅広いネットワークを活かして講演者を紹介したりするなど、民間ならではのノウハウが発揮され、成果を挙げられているが、学校現場における教育課題に対応する際には、教育の世界の不易の部分を押さえながら、今の教育的な課題に組織を動かしてどう立ち向かっていくかについては苦戦をされた面もあると聞いている。

**(教育長)**

学校マネジメントが定着していなかった時代には周辺の学校長も含めて勉強をさせてもらった。現在は学校マネジメントがかなり定着しており、これからは、学校とその地域とを繋げる姿勢のある取組をされる方に応募していただきたいと考えている。

**(委員全員)**

了 承

以下、非公開のため省略。

閉会